

# なかどまり

第13号

平成20年8月発行

# 議会ガイド



7月17日

青森市民ホールで行われた県下議会議員研修会

政治評論家 屋山太郎氏が「これからの日本の政局はどう動くか！」と題して講演

## 〈主な内容〉

- 第2回定例会 …………… 2
- 一般質問 …………… 4
  - 奈良 清治議員 …………… 4
  - 塚本 悦子議員 …………… 5
  - 川山 光則議員 …………… 6
- 委員会だより …………… 8
- 議会の動き …………… 8



平成二十年

# 第二回定例会

平成二十年第二回中泊町議会議定例会が六月四日招集される。



野上 議長

## 第一日目(六月四日)

本会議

議員十八名出席のもとに開会。会議録署名議員に山田光春議員、兵庫桂蔵議員を指名、会期を七日間と決めた後、議案二十三件、報告二件を一括上程し、町長から提案理由の説明、各常任委員会に付託された陳情の審査結果について報告が行われた後、青森県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を行い散会。

## 第二日目(六月五日)

一般質問通告締切  
議案熟考のため休会

## 第三日目(六月六日)

議案熟考のため休会

## 第四日目(六月七日)

議案熟考のため休会

## 第五日目(六月八日)

議案熟考のため休会

## 第六日目(六月九日)

本会議

一般質問に、奈良清治議員、塚本悦子議員、川山光則議員が登場。

## 第七日目(六月十日)

本会議

上程してある二十三議案と報告二件、議員発議二件について審議した結果、原案どおり可決承認し、閉会。



# 審議された議案

## 条例

### ○中泊町徐福の里物産品直売所条例の制定

中泊町徐福の里物産品直売所の新設に伴い、施設の運営及び維持管理に必要な事項を制定するため。

### ○中泊町徐福の里条例の一部改正

中泊町徐福の里物産品直売所の新設に伴い、条例の一部を改正するもの。

### ○中泊町乳幼児医療費給付条例の一部改正

国の診療報酬の算定方法の改正等に伴い、条例の一部を改正するもの。

### ○中泊町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正

高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正及び国の診療報酬の算定方法の改正等に伴い、条例の一部を改正するもの。

### ○中泊町重度心身障害者医療費

## 助成条例の一部改正

国の診療報酬の算定方法の改正等に伴い、条例の一部を改正するもの。

### ○中泊町国民健康保険小泊診療所条例の一部改正

国の診療報酬の算定方法の改正等に伴い、条例の一部を改正するもの。

### ○中泊町国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令及び地方税法の一部改正に伴い、課税額及び限度額等の変更と税率等を改めるため、条例の一部を改正するもの。

### ○中泊町農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部改正

行財政改革に伴い、委員定数の見直しをするため、条例の一部を改正するもの。

### ○中泊町農業集落排水処理施設条例の一部改正

各条例の整合性を図るため、それぞれ条例の一部を改正するもの。

### ○中泊町漁業集落排水処理施設条例の一部改正

各条例の整合性を図るため、それぞれ条例の一部を改正するもの。

## 補正予算

### ○平成二十年度中泊町一般会計補正予算第一号

補正額は、歳入歳出とも三千五百五十一万八千円を追加するもの。

補正する歳出の主なものは、自立支援(更生)医療給付費、青森県日本一健康な土づくり農業実践事業費補助金及び財政調整基金積立金、並びに人事異動等に伴う職員人件費の調整など、それぞれ計上。

### ○平成二十年度中泊町国民健康保険特別会計補正予算第二号

事業勘定の補正額は、歳入歳出六百三十八万二千円を減額するもの。

補正する歳出の主なものは、職員人件費の減額、診療施設勘定の補正額は、歳入歳出とも五百五十一万二千円を減額するもの。

補正する歳出の主なものは、職員人件費の減額及び業務委託料の追加。

### ○平成二十年度中泊町老人保健事業特別会計補正予算第一号

補正額は、歳入歳出とも一  
千四十万五千円を追加するも  
の。

補正する歳出の主なものは、  
支払基金への前年度調整還付  
金の追加。

万二千円を減額。  
資本的支出の既定予算額に、  
工事費及び企業債償還金など  
四百四万二千円を追加。

その他

○平成二十年度中泊町介護保険  
事業特別会計補正予算第一号

補正額は歳入歳出とも一百  
三十万円を追加するもの。  
歳出については、職員人件  
費を、歳入については、歳出  
との関連において一般会計繰  
入金を計上。

○町有財産の無償貸付

株式会社ヒロセから、当町  
における操業継続のため、町  
所有地に係る使用貸借契約期  
間延長の願い出があったので、  
当該財産を引き続き無償貸付  
けすることにつき、議会の議  
決を求めるもの。

○平成二十年度中泊町特別養護  
老人ホーム静和園事業特別会  
計補正予算第一号

歳入歳出とも既定の予算額  
とし、歳出予算について内部  
補正をするもの。

○町道の路線の廃止、町道の路  
線認定

道路新設及び町道拡幅事業  
の完了に伴い、現町道を廃止し、  
本道路を一路線として管理す  
るため新たに認定するもの。

○町道の路線認定

①公営住宅整備事業で新設し  
た道路について、町道を管理  
するため認定するもの。

○平成二十年度中泊町水道事業  
特別会計補正予算第一号

収益的支出の既決予定額か  
ら、支払利息など七百二十二

②寄附を受けた道路敷地につ  
いて、町道を管理するため認  
定するもの。

○青森県町村総合事務組合を組  
織する地方公共団体数の減少  
及び青森県市町村総合事務組  
合規約の変更  
構成団体の変更に伴い、規  
約の変更するため。

○青森県市町村職員退職手当組  
合を組織する地方公共団体数  
の減少及び青森県市町村職員  
退職手当組合規約の変更  
構成団体の変更及び組合議  
会議員定数等の変更に伴い、  
規約を変更するため。

報 告 (専決処分)

○中泊町税条例の一部改正  
地方税法等の一部を改正す  
る法律の施行に伴い、条文の  
整備を要するため。

○中泊町国民健康保険特別会計  
補正予算第一号

平成十九年度中泊町国民健  
康保険特別会計診療施設勘定  
の歳入歳出決算において、歳  
入が歳出に不足したことに伴  
い、所要の予算補正を要す  
るため。

発 議 (議員提案)

○米の安定と生産調整に関する  
意見書  
外国に6割余りも依存して  
いる農産物の国内での増産を  
図り、食料自給率を向上させる  
ことと米価の安定を図ること  
を関係行政庁に要望するもの。

○国による公的森林整備の推進  
と国有林野事業の健全化を求  
める意見書  
安全で安心できる国民の暮  
らしを守るために、重要な役  
割を果たす水資源林等公益森  
林の整備、地域林業・木材産  
業の振興、活性化を図ること  
を関係行政庁に要望するもの。

○国による公的森林整備の推進  
と国有林野事業の健全化を求  
める意見書  
安全で安心できる国民の暮  
らしを守るために、重要な役  
割を果たす水資源林等公益森  
林の整備、地域林業・木材産  
業の振興、活性化を図ること  
を関係行政庁に要望するもの。

○国による公的森林整備の推進  
と国有林野事業の健全化を求  
める意見書  
安全で安心できる国民の暮  
らしを守るために、重要な役  
割を果たす水資源林等公益森  
林の整備、地域林業・木材産  
業の振興、活性化を図ること  
を関係行政庁に要望するもの。

町長提案理由説明



小野 町長

**傍聴席は、あなたの席です!!**  
中泊町議会平成20年第3回定例会は、  
9月初旬です。  
会議は公開されており、  
どなたでも議会の傍聴ができます。  
平成20年第2回定例会の傍聴者は、10名でした。  
皆さんの傍聴をお待ちしております。

本日、平成二十年第二回中泊  
町議会定例会を招集いたしまし  
たところ、議員の皆様方には公  
私ご多忙中にもかかわらず、ご  
出席をいただき、ここに開会で  
きましたことを厚くお礼申し上  
げます。  
今定例会に提出いたしました  
議案等は、専決処分した事項の  
報告及び承認を求めるの件のほ  
か、中泊町徐福の里物産品直売  
所条例の制定についてなど合計  
二十五件であります。その概  
要を申し上げ、ご審議の参考に  
供したいと存じます。

# 一般質問

※質問議員の発言は、議員間の取り決めにより、800字程度に要約して掲載しています。また、答弁についても要約しています。

## 奈良清治議員



**質問 第1** 新幹線開通時の観光面での対応策を考えているのか

平成22年度新幹線青森開通で各市町村は観光特産に力を入れるべき努力しています。中泊町でも色々な考えはあるでしょうが、色々困る中でも特にフリー客の外国人の対応で困ると思うが、外国語の得意な職員や一般市民のボランティアがいるのか。連絡先は。または観光面で一例をあげれば大沢内の湧きつばやミズバシヨウの案内板がわかりにくいとの苦情があります。

**質問 第2** 毎年行う新年を祝う集いの催し物として、伝統的な神楽舞などを入れてはどうか

新年を祝う集いは、私は年始めの祝いであり伝統である家内安全無病息災神楽舞を何年かに一度取り入れるか、または中泊町成人式の男女にふるさとの伝統神楽舞を見せるべきと思う。

**質問 第3** 議会の同意を必要とする人事について

今中泊町は財政難で大変です。財源の乏しきや滞納の多さ、税務課の苦勞がわかります。そこで町長人事ですが議会の同意が必要な委員や選挙によって選任されている委員、そして町長より色々な役目を任命されている人の中に滞納者はないか、町長は一度調査してみるべきである。

**質問 第4** 他町村と異なり中泊的な一部行政のあり方について

一例をあげて申し上げます。観光課がありながら観光面でも、それぞれの担当課が内容を把握していないため、観光的なことを旅行者が聞いても即答できないとのこと。ほかの町村と違うとの不満があります。縦割り行政ではなく、中泊町に観光に来た人が隣接市町村の行事等がわかるように幅広く安心した観光をさせてあげるべき。また米マイロードより五所川原と津軽道路にすぐ行けるように色々な面から町長は努力すべきである。町民には何事もわかるようそういう行政にすべきである。

### ●小野町長答弁

議会の同意を必要とする人事については、去る4月28日に開会されました臨時議会の際に配付いたしました一覧表に記載されておりますように、副町長を初め、監査委員、教育委員、固定資産の評価審査委員の役職がございます。また、人権擁護委員についても議会の意見を聞くことになつており、議会に諮り、選任しているものであります。

なお、一覧表にありません選挙管理委員と農業委員については、これは議会の選挙、もしくは推薦となつていふものであります。私が議会の同意を求める役職の方々を選任するに当たりましては、いずれの役職も大変重要な役目であり、町を代表するものでありますので、ご質問の税と滞納

のことも含め、多方面から検討を加え、慎重に人選しているものであります。

ご質問の税などの滞納については、本議会開会日に開催されました議員全員協議会でも協議申し上げましたとおり、非常に深刻な問題でありますので、各方面からその対策を講じてまいります。公職についてもらう方々には他の模範となつていただくことになりましたので、これからも特に注意をしながら人選をして進めてまいりますつもりでございますので、よろしくお願いしたいと思います。

新幹線開通時の観光面での対応策については、開通は平成22年度の秋と聞いています。平成22年度に開通するのであれば、青森のねぶたに合わせるような形で開通していただけないものかと、会議等で県にお願ひしています。

それと、町内に外国人の方々が来たときの対応については、町教育委員会にも外国人の方もおります、他市町村にもいると思いますので、これから近隣の市町村とも対応策について検討してみたいと思います。

そして、あの湧きつばの順路、ミズバシヨウへの順路は、確かにご指摘のとおりです。今回この湧きつばにつきましては、全国の百選に選ばれ、新聞にも載つてございます。我々もこれにつきましては、さらに地区の方々と、その関係者と相談し合いながら、手を加えてみたいと思つております。

また、ミズバシヨウについても確かに前から手入れはしてきましたが、ただ順路とか看板が定かではないので、整備してまいりたいと思います。

### ●加藤副町長答弁

最後にありました職員の対応であります。これは、役場職員としてのイロハのイでございますので、たるんでいふところもあるのかなと思つていました。これは、厳に慎まなければならぬし、やっぱり適切な対応をしなければいけないということ、重々承知しているはずでありますけれども、そういう点が抜けているのかな。もう一回気を引き

締めなければいけないと思います。

よくたらい回しにすることがあって、最後にわかりませんとするような、そういう応対が随分批判されております。そういう点は、逐次指導してまいっているはずであります。これは厳に慎まなければならぬことでありますし、またこれから観光客の対応とか、あるわけですので近隣の町村のそういう案内も含めて、みんなに指導してまいりたいと思います。

### ● 藤田教育長答弁

この奥津軽地域のいわゆる津軽神楽の歴史は非常に古くて、少なくとも江戸時代にさかのぼると言われています。私も小さいころは、大田田植えの後、旧の5月1日から大体20日の間にわたりまして、各村の神社で演じられた思いがよみがえってきます。

近年は、氏子の減少、人口の流出、情報化等によります地域社会だとか、あるいはそこに住んでいる方々の生活様式の変化により、このような地域の伝統文化に触れる機会というのが非常に少なくなってきたと一般的には考えています。

しかしながら、津軽神楽を初めとする伝統的行事、芸術あるいは技術につきましては、私たちの住んでいるこの地域の歴史や文化を理解する上では欠くことのできない重要な文化財でありますので、これらを担当する教育委員会としましては記録保存、あるいは後継者の育成、発表機会の充実等の施策が必要であると考えております。

具体的には4点行っています。1つは文化財の指定による保護、2つ目は、保存団体への補助金、3つ目には、中里小学校の伝承部など、各管内の小中学校のいわゆる教育における活動、4つ目には、なかどまりまつりや町民祭などでの発表です。以上の具体的施策としては4つ掲げてございます。

特に神楽等につきましては先ほど申しましたように、非常に見る機会が少なくなってきたので、いろいろ

と検討をしていきたいと思っております。

### ● 木村水産観光課長答弁

東北新幹線は平成22年が開通ということで、あと2年という時期になりました。確かに新幹線効果については、多くの県民初め、特に期待しておりましたが、今青森市を中心とした津軽一帯が観光振興を活性化する事業に取り組んでいるのは確かです。

まず、津軽と言えば、弘前のさくらまつり、白神山地、竜飛岬というのが有名であります。人物では第一に金木出身の太宰治ということが挙げられると思っております。

そこで、県では、太宰治の生誕100年を記念した地域の活性化協議会を今立ち上げております。この機会を得て、新幹線開業に向けたPRに合わせ、記念事業を計画し、誘客を図る方策をとっています。当町におきましても基幹産業である農水産業の活用をした地域ならではのものを生かして、観光産業と融合した政策を構築するのが大事かと思っております。それぞれの地域の観光資源を掘り起こし、開発して独自の観光商品を生み出すことが大事ですが、津軽を中心とした市町村との連携が誘客のためには必要かと思っております。

昨今、津軽観光圏協議会初め、西北五観光物産協議会など、さらには県民局が新幹線開業に向けた事業に対策会議、それから勉強会を着々と進めているところでありまして。特にグリーンツーリズム、ブルーツーリズムと言われている中で体験型の商品を開発して、都市からの観光客に喜ばれる商品を開発し、観光客のニーズにこたえられるものが今後の大きなテーマかと思っております。

さらに、観光客を受け入れる関係各位の、まずは奮起と地域ぐるみで迎え入れる気構えが観光客の対応策かと思っております。

よって、関係各位の現状の把握と各地区の伝統文化、景勝、自然などを掘り起こし、観光拠点の開発と地区ごとのボランティアガイドの発掘、育成が急務と思われま

最後に、このたび平成の名水百選に選考された湧つぼ、ミズバショウにつきましても、現在道路については林道として今整備されておりますし、湧つぼまで行く遊歩道につきましましては整備したということで聞いております。

## 塚本悦子議員



### 質問 第1 男女共同参画について

県では、男女共同参画推進条例が定められています。わが町は計画を策定しています。すなわち一、男女共同参画社会の実現。一、行政委員会委員等への女性の積極的な登用。一、女性団体への支援の充実と女性リーダーの育成及び支援。一、女性の社会参加を助ける環境整備など、すばらしいプランができていく状況ですが、私が思うにまだ実現していないようです。予定はいつ頃か。そしてわが町の多くの女性がコミュニケーション活動を担っているにもかかわらず、行政委員会、各種審議会等の委員の登用が低いと思っております。その目標値と進捗状況はどのようになっていますかお聞かせ願います。

### 質問 第2 薄市地区火災の消火活動の対応について

先般残念ながら薄市地区で3軒も全焼するような大火になってしまいました。私は、3月議会において消防団員の確保は地域にとって最も優先課題であって、急な災害に遅れを取ることとは人災に変わるといふ危機意識を持たなければいけないことを申し上げました矢先にこういう事

態が起こりました。なぜ大火になったのか反省すべき点が多々あると思います。一、限られた人員での対応。一、日頃の訓練回数。一、年間を通して区域外出動態勢。一、消防事務組合の防災システム連絡網の町民へのわかりやすい周知等です。鎮火後の見回りを団員だけでなく消防署員も出てほしいとの団員からの要望があります。財政難とはいえ常に備品を点検し、古い備品を取り替えることが重要です。また団員の出動の際の報酬の改善が必要です。そこで団員の減少と消火活動など待遇改善に対する町の考え方をお聞かせください。

### ●小野町長答弁

薄市地区の火災は、去る5月11日午後発生したもので、折からの強風におおられ、3軒が被災に遭う大火となりました。私も当日現場に駆けつけましたが、余りの火の勢いにびつくりいたしました。被災された皆様方には心よりお見舞いを申し上げます。翌日、早速消防署に行き、改善できるものから実施するよう指示してまいりました。その苦情の中に、議員ご質問の通報体制に関するものも含まれており、町民に対する広報の必要性を感じておりました。消防署への119番通報の体制は、平成18年の3月20日に改正されまして、それまでは各消防署が受け付けていた体制から五所川原消防本部指令課の指令室に一本化されたものであります。これについては、平成18年の3月号及び19年の12月号の町の広報に詳しく掲載されております。その中で、これまでと違って通称や屋号などでは対応できないので、正確な氏名、住所を連絡してくれるよう要望しております。火災など、緊急の災害発生時には、情報を正確に伝えることが最善の方法でありますので、日ごろから心がけていただきたいと思えます。

なお、県においては、平成24年度までに人口30万人規模の消防広域化計画を推進していくことになっております。これが実現されますと、119番体制も今以上に広域化されることとなります。より正確な情報の伝達が求められますので、日ごろからの訓練などを怠らないようお願いするものであります。周知の方法については、これからも消防署と協議しながら定期的に広報や町民懇談会等、各種会合を通じてお知らせしていく所存であります。

### ●秋元総務課長答弁

消防団員の皆様には、火災や水害など、緊急度が増せば増すほど出動していただいております。誠に申し訳なく思っております。このたびの火災においては、ちょうど農作業の真最中にも関わらず、各分団に出動いただき率先して消火活動等を行っていただきました。

また、事後の処理に当たりましても担当の分団であります第9分団には当日遅く、また翌日も遅くまで作業していただきました。昔から消防団は、社会に奉仕する団体であり、消防活動に対して何らの対価も求めない犠牲的奉仕団体と言われておりますが、少額の手当で献身的な活動をしていただいている団員の皆様には、頭の下がる思いでございます。これら活動に報いる方法として、議員ご質問のとおり、団員の待遇改善が挙げられると思えます。考えられますことは、報酬や出動手当等の引き上げであります。町の財政事情や他市町村の状況等を調査した上で報いられるよう検討してまいりたいと思えます。

なお、常備消防の夜間の見回り等の後始末作業等の従事については、少ない署員で災害に備え待機しなければならぬという事情があり、現状では消防団の皆さんに頼らざるを得ないという状況でありましたことを報告申し上げます。

### ●坂田企画調整課長答弁

男女共同参画社会についてお答えします。

まず、実現の予定でございますが、町では昨年3月に推進プランを策定し、豊かで活力ある男女共同参画社会を目指して取り組むことといたしております。しかしながら、これは一朝一夕にできるものではなく、機会あるごとに啓

発を進め、町民の皆様のご協力をいただきながら根気よく進めていかなければならない分野でもあります。今年度、町では広く県民を対象に意識啓発の機会を提供するため、県と共同で青森県男女共同参画センターオープンカレッジを開催するよう進めています。

次に、女性登用率の目標値ですが、平成19年度においては委員会などの女性比率は31%であり、また審議会等の女性比率は31%となっており、職種によって大きな開きがございます。推進プランでは、特に数値目標を定めていませんが、可能な限り高めていくよう努力をしておりますので、ご理解をお願いいたします。

### 塚本悦子議員

防災システムの連絡網が町民にわかりやすい周知があったら類焼は防げたのではとの住民の声があります。いくら任務とはいえ身の危険も顧みず、残火処理に翌朝まで見回り、被災者を精神的に助けける団員を目の当たりにし、このようなベテラン団員が若い団員に受け継いでもらうのに一日千二百円の報酬は余りにも気の毒です。団員の待遇改善を更にお願いたします。

### 川山光則議員



#### 質問

#### 第1

中泊町小泊朝間から五所川原市脇元、通称「もや山」裏までふるさと農道として整備できないか

このことについて、私は、旧小泊時代から何回か質問していますが、今再度質問したいと思えます。というのは、現在の国道339号線、雄乃湯前から折戸地区おさかな海岸前

までの海岸線で山側が前よりかなり膨らんで道路にかぶさって、一部側溝が見えなくなっている状態です。また、風が強くなると海岸のほうから波も上がり、大変な状況になります。このような状況から、早急に迂回路をつくる必要があるのではないかと思います。再度質問いたしました。前回質問の際に、脇元までの林道があるとのことでしたが、私が今見たところでは急に避難するような林道でもなく、悪路で車が特に下前、小泊には大型トラック等もかなりありますので、そういう車は走れる状態にありません。また、直しても走れる状態になると思われません。

このようなことから、私は、なるべく平らな、もちろん舗装までは望みませんが、緊急の場合、対応できるような道路をぜひこしらえていただきたいと要望します。理事者の考えを伺います。

## 質問 第2 原油代金高騰による漁船への助成対策(国・県・町)はないか。

原油代金高騰による漁船への助成対策はないか。このことについて、現在の油の値段には甚だ怒りを覚えます。しかし、私たちには、どうすることもできず、各産業は大変な思いをしています。しかし現状では、急速に油が安くなると思えず、今後のことを考えると、頭が痛い思いです。そんな中で、小泊の中型漁船は、燃料を多量に使うため、漁に出る回数を極力減らしている状況です。これでは、私たち陸にいる人たちの商売にも差しさわってきます。これは、私たちだけでなく、全国的なことですが、水揚げが少なくなると、いろいろな方面で影響があります。国や県、また町として、何か対策がないものか。また、これから国や県等に要望していくことはないのか、町長の考えを伺います。

### ●小野町長答弁

燃油の高騰は、世界的な石油需要の増加などから、長期

的に見ても高止まり状況が続くことが予想されており、このような環境のもと、農林水産業は、新技術の導入、産業形態の見直し、バイオ燃料の活用など、省エネ型への転換を余儀なく求められ、この燃油高を乗り切ることが急務だと思います。ご質問の漁船への助成対策はないのかのことでございますが、今のところ国、県、市町村の取り組みはございません。確かに急激な燃料価格の高騰により、経費が前年度より倍以上の出費だと聞いております。漁師からは、漁に出れない、出漁すれば赤字などと漁師の切実な思いは痛感しております。

ただ、支援策は、ことし3月にこの問題で緊急の会議が開催され、平成20年度の事業として支援対策の事業が行われることが会議の議題でありました。事業主体は、各県の漁連、水産業者などが出資した財団法人大日本水産会が平成19年度補正予算に水産業燃油高等緊急対策費用として102億の基金を計上し、3つの支援が提案されました。省エネ推進協業体活動支援事業、小規模漁業構造改善促進対策事業、そして漁業経営体質強化対策事業があります。しかし支援事業の基準に該当する漁業者がなく、取り組むことができませんでした。

先日、東京のホテルで県選出国會議員10人の方々に陳情する場面がありました。そこで、私はその議員の皆様方に「私も中泊町では、6月議会が始まりました。一般質問の中で、小泊地区の議員から原油の高騰により漁船の油である重油、軽油が合併した3年前より3倍にはね上がったしまった。これでは、漁に出るのも大変だと。漁に出なければ、生活ができない。国、県、町では漁船に対して助成対策を考えているのか。考えていないのなら、国に対して町を挙げて陳情したらどうかと言われました」と、伝えました。

また、稲作農家の皆さんには減反とか転作とか、田んぼをつくらなければ、国では何億ものお金を出して、我々漁業を営んでいる者には国では対策を考えてくれないのはおかしいと、燃料価格高騰に関しては一般町民も同じく大変

です。特に漁業を営む者は大きな打撃を受けます。大変大きな問題だと思いますが、与党も野党もなく、一日も早く解決してくださいとお願ひしてまいりましたが、町としても今後の情勢と関係機関との動向を注目しながら、施策を講じたいと思います。

### ●川島農政課長答弁

小泊地域の主要道路は国道339号線であり、今後主要道路が災害等で遮断された場合については、小泊地域が孤立状態になるということで、非常に大変なことになります。そういうことで、代替道路あるいは迂回路が必要だということは十分認識しております。議員が提案されるルートでありますと、農道整備事業の採択基準からいきまして、非常に無理があると思います。そして、財政的にも非常に無理な状況だと考えられます。

そこで、今町で考えているのは、既存の林道、脇元割長根線をふるさと林道緊急整備事業で整備できないか。これは、既存の道路ですので今検討中です。

なお、行政的に五所川原市との関連がありますので、当町と五所川原市との連携も必要になってくると思われ、ただ、今検討しているふるさと林道緊急整備事業につきましては、現在事業主体は県でやることで検討はされております。そうすると、地元の工事費に対する負担は出てきません。今現在4メートル幅の林道用地はありますが、それを基盤、路盤から整備して舗装をするという計画です。ただ、待避所が必要になってきた場合については、用地買収等は地元対応というようなことになりましたが、極力地元の負担を伴わないような形で実施できないか、これから五所川原市と協議して進めていきたいと考えております。



**民生文教常任委員会 (秋元啓志 委員長) 5月26日(月)**

〈案 件〉

- ・ 陳情第3号…後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める陳情について
- ・ その他



**産業建設常任委員会 (兵庫桂蔵 委員長) 5月27日(火)**

〈案 件〉

- ・ 陳情第1号…「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情
- ・ 陳情第2号…米価の安定と生産調整に関する陳情書
- ・ その他



**議会運営委員会 (米塚慎一 委員長) 5月27日(火)**

〈案 件〉

- ・ 平成20年度中泊町議会第2回定例会会期日程について
- ・ 提出議案について
- ・ 陳情の委員会審査結果について
- ・ 新規に受理した陳情の委員会付託について
- ・ その他



**【4月】**

8日 小泊幼稚園入園式

新年を祝う集い

22日 西北津軽郡町議会議長会総会

24日 中泊町老人クラブ連合会総会

水田農業推進協議会

例月出納検査

25日 民生児童委員協議会総会

例月出納検査

中泊町商工会新春講演会

26日 ことまり春物語ツアー

28日 第2回中泊町議会臨時会

中泊町建設業協会定時総会意見交換会

29日 金木桜まつり開会式

**【5月】**

2日 つがるにしきた農協津軽「花見の会」

9日 中里職業能力開発校通常総会

12日 青森県鉄道整備促進期成会総会

青森県新幹線建設促進期成会総会

13日 青森県町村議長会理事會

20日 全国議長会議長・副議長研修會

26日 民生文教常任委員会・協議會

例月出納検査

27日 産業建設常任委員会  
議会運営委員会

青森県町村議長会定期総会  
例月出納検査

28日 シルバー人材センター総会

アクトプラン定期株主総会

**【6月】**

3日 青森県町村議会議長会臨時総会

4日 第2回中泊町議会定例会開會

5日 西北身体障害者福祉連合會定期總會

7日 五所川原市消防団定期觀閲式

9日 本會議 一般質問

10日 本會議 単行案審議・採決・閉會

14日 鶴田町消防団定期觀閲式

20日 小泊地域交通安全・同女性部通常總會

23日 例月出納検査

24日 例月出納検査

25日 国道339号線期成同盟會總會

26日 中泊町農業振興地域整備促進協議會

28日 交通安全觀音像祈願

29日 中泊町民大運動會